

推論

松野 元

# トリプル ×ルトダウン

原子炉主任技術者が  
福島第一原発の  
事故原因を探る

スリーマイルアイランド事故や  
チェルノブイリ発電所事故の教訓を生かせず  
福島第一原発はメルトダウンした。  
いまだ事故原因が特定されていない。  
避けられたはずのメルトダウンの原因を  
原子力技術機構（現原子力安全基盤機構）の  
原子炉主任技術者が推理する。

創英社  
三省堂書店

したがって、伊方発電所の再稼働については汚染水対策が条件であり、できればその計画を宿題として与え、その効果を伊方原発構内で確認して期待どおりに動くことを確認できれば合格だろう。昔の社長であれば、佐田岬半島を横切って太平洋側に汚染水を放出するくらいの想像力を持っていた。

#### ・中央構造線対策

世界にまれな規模の活断層である。伊方1号機の安全審査の際は、活断層とは考えられていなかった。

原子力規制委員会は、日本のどこかの断層で作った規制基準を中央構造線に当てはめて、問題なしとしていることがおかしいと思う。

中央構造線は別の断層とは違う特徴を持っているかもしれないと考えるべきで、高知大学に岡村先生という専門家がせっかくおられるのだから、ご意見を参考にすべきであろう。

なお、規制基準では、敷地内の断層による基準振動と敷地に特定できない断層からの基準値を考えているが、福島第一原発事故は敷地から遠く離れた断層からの影響だったのだから、敷地内の断層からの影響よりも、周辺の断層からの影響の方が大きい、というか長期にわたるものとなり影響は大きいと考えるべきではないだろうか。

#### 4. 避難計画

鬼怒川の決壊しは、決壊しや効果がないりかたのとき

国土交通省は、10年として改修を

避難計画が対象を事前に防件であったと

災害や事故で、災害エネ難計画がこれ

原子力の場ECCSが働く置されていたに立ち向かわ完璧に働く避

鬼怒川決壊という前提にでも堤防を溢ために逃げて

著者 松野 元 (まつの げん)

原子炉主任技術者、第1種電気主任技術者

1945年1月生まれ

1967年3月 東京大学工学部電気工学科卒

同 年4月 四国電力(株)に入社、入社後、火力発電所、原子力部、企画部、伊方原子力発電所、東京支社等で勤務

2000年4月 JCO臨界事故後の新しい原子力災害対策特別措置法による原子力防災の強化を進めていた経済産業省の関連団体である(財)原子力発電技術機構(現在の原子力安全基盤機構)に出向し同機構の緊急時対策技術開発室長として、リアルタイムで事故進展を予測しその情報を中央から各原子力立地点のオフサイトセンターに提供して国の行う災害対策を支援する緊急時対策支援システム(ERSS)を改良実用化するとともに原子力防災研修の講師も担当し、経済産業省原子力防災専門官の指導にも当たった。

2003年3月 出向解除

2004年12月 四国電力(株)を退職

2007年1月 『原子力防災』(創英社/三省堂書店)を発売

## 推論 トリプルメルトダウン

—原子炉主任技術者が福島第一原発の事故原因を探る—

発行 平成28年8月15日

著者 松野 元

発行者 亀井忠雄

発行所 創英社/三省堂書店

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1

TEL 03-3291-2295 FAX 03-3292-7687

印刷・製本 信濃印刷株式会社

乱丁、落丁本はお取り替え致します。

定価はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-88142-954-9 C0036

© Gen Matsuno 2016

Printed in Japan